

## ◆◆◆◆◆◆◆◆ オブザーバー感想文 ◆◆◆◆◆◆◆◆

松山東雲短期大学 教授 渡辺 和枝

SI 西条でご縁をいただき、ユースフォーラムに参加させていただくようになって10年。回を重ねるごとにフォーラムは進化し、高校生のフォーラムへの取組がどんどん濃くなっています。今回、初めて西リジョンユースフォーラムに参加させていただき、高校生の計り知れないパワーを目の当たりにしました。限られた時間の中でグループの意見を集約し、それを12分間ピッタリにプレゼンテーションする。これがどれほど困難なことか…。それを彼女たちは、いとも簡単に成し遂げ、しかも楽しかったと言います。彼女たちは輝き、正味1日という短期間で確実に成長していました。キャリアサポートとは「さまざまな経験の場を提供すること」と言い換えることができるのではないのでしょうか。

山田先生のお話に取り込まれ、オブザーバーの方々が語る夢に触発され、高校生の言葉に涙腺が緩み、本当に充実した2日間でした。このような経験をさせていただいたことに心より感謝いたします。

### ユースフォーラムに参加して

益田東高等学校 教諭 梅津 実礎慈

8月18日・19日、大山の麓にある大山ロイヤルホテルで、国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン主催のユースフォーラムに、益田東高等学校生徒の池田穂香さんとお母さん、私の3名が参加させていただきましたこと、心からお礼申し上げます。

初めて参加し強烈な印象を持ち帰りました。

まず、自分の体験から将来設計について考えを述べる態度や内容に、意識の高い女子高校生を頼もしく感じました。グループ討論・発表ではコミュニケーション能力を必要とし、発表形態に持っていく過程で、スキルアップに繋げる視界を広めることができ、まさに女子高校生のためのキャリアサポートとして素晴らしいプログラムでした。僅かな時間で子どもたちの隠れていた力を掘り起しエネルギーを燃やさせる貴重な体験ができるユースフォーラムに感動いたしました。「夢を拓く」をテーマに女性としての生き方を考え、今日から力強く歩いていくことと思います。

## ガバナー賞受賞のよろこび

SI 大洲 向井 順

この度、日本西リジョンユースフォーラムにおいて、国際ソロプチミスト大洲が推薦した愛媛県立大洲高等学校 2 年生 後藤つむぎさんが、ガバナー賞を受賞いたしました。

彼女は、考え方が前向きで明るく爽やかな笑顔に溢れ、若い力を満喫した旅行となりました。誠にうれしく栄誉であり誇りであります。

彼女は地域医療を支える医師になるとの強い意志を持ち、提出論文で「自分の出生時早産で未熟児で生まれ、2 か月間入院し母も子宮頸管無力症のため妊娠初期から入院し、治療したおかげで私と母は健康で生活できています。」と書いています。

地方の医師不足により公共医療機関から専門の診療科が次々と消えている中、地方で安心して生活していくために地域の公共の医療機関の人材の充実が不可欠と考え、夢である医師になることにしたいとの事で医学部合格の朗報を待ちたいと思います。

## 日本西リジョンユースフォーラムにオブザーバー参加して

SI 平和広島 吉中 千鈴

降雨の心配が嘘のように晴れ渡った青空のもと悠然とそびえる大山が、私たちを優しく迎えてくれたユースフォーラム。

ガバナーのご挨拶に続くユースの自己紹介では、圧倒されるほど見事なスピーチと堂々とした態度。これからの時代を託すに相応しい女性を育てるこのフォーラムの意味合いを大いに感じました。

「夢を拓く」テーマについて熱く語り合った彼女たちは、自分の夢や方向性を、もっと大きく確実なものにしてくれたことでしょう。

同行させていただいた私も「これからの人生で今が一番若いのだから今出来ることを、今しか出来ない事にチャレンジしなければ」と強く感じました。

「夢は見るものではなく、夢は持つもの」持てばその実現にむけ努力できる。

そして「愛と情熱」が込められた「夢」なら最高ですね！！

5年後、10年後にユースの皆様が、ソロプチミストの心を軸として愛に溢れた素敵女性リーダーとして活躍されている姿を夢見ています。

素晴らしい2日間、心に響く刺激をいただき有り難うございました。

## ユースフォーラムに参加して

SI 岡山さつき 岡本 和子

まずは45人のユースの自己紹介が一人2分の持ち時間で始まりました。各自「夢の実現をめざして」自分の意見をはっきりと個性的に述べていて、45人の発表に我々オブザーバーは惹き付けられ、時間が経つのを忘れていました。

翌日のグループ(6～7人、7グループ)発表もそれぞれ趣向を凝らしたもので、短い時間で、よくあれだけのものが出来たとユースのエネルギーとチームワークの良さに驚きました(初めて会ったばかりなのに)。最初に寸劇を使ったものが多く、そこから夢の実現のためには「コミュニケーション力・人とのかかわり方・努力・勇気・知識・情報力・男女の固定観念をクリアにする」が大切と主張していました。

審査委員長山田修平先生の気転が利いた指導、適切なアドバイスに導かれて、ユースだけでなくオブザーバーも「夢の実現」について考えることができ、普段では持てない貴重な時を過ごしました。

## ユースフォーラムに参加して

SI 坂出 横井 桂子

2015年度ユースフォーラムは45名の女子高生と200名のオブザーバーで開催されました。緊張した女子高校生に課せられた最初の課題は2分間のプレゼンテーションです。自分の夢を織り込んでのスピーチと寿太鼓のパフォーマンス、バイオリン演奏、手話、バレエ、英語のスピーチ等個性が思う存分発揮された時間でした。次はグループに別れて自分の夢を語り、夢の実現への課題や問題点のディスカッション、その後、翌日の全体会テーマ「夢の実現をめざして」に向けて白熱した討論をしました。本番、全体会の発表は1グループ12分の持ち時間、持っている力を発揮した躍動感溢れる発表でした。

こうした工程を踏んで彼女たちは自分の夢を声に出し、討論を重ねていくうちに自分の中にある宝に目覚め、気づき、漠然とした夢は確固たるものに、夢の実現への道すじを掴みました。わずか1泊2日の短い時間でしたが強烈な刺激を受けた彼女たちは仲間になり、強い絆で結ばれていったようです。

このような素晴らしいユースフォーラムに参加でき、彼女たちの輝いた瞳で私たちも夢をもらいました。どうか素晴らしい将来を拓いてください。応援しています。